

その霊

聖書：ヨハネ 7:37-39. I コリント 15:45 後半. ローマ 8:16.

I コリント 6:17. 啓 1:4. 4:5. 5:6. 22:17 前半

- I. 神の霊は、神が宇宙を創造することにおいて動かされました——創 1:2。
- II. エホバの霊は、神が人に到達することにおいて、また人を顧みることに  
て行動しました——士 3:10. 6:34. 創 6:3 前半。
- III. 聖別の霊は、神が彼の選びの民をご自身へと聖とするためでした——詩 51:11.  
イザヤ 63:10-11。
- IV. 神が肉体と成ることの中で人と成ることを導入するためにバプテスマのヨハ  
ネが胎に入ることに（ルカ 1:13-17）、その霊は聖霊でした。また神が  
肉体と成ることの中でイエスが胎に入って肉体における人と成ることにおい  
て（30-36 節. マタイ 1:18-20）、その霊は聖霊でした。
- V. イエスはその霊をもって油塗られました。またその霊は、人なるイエスの地  
上における神への務めの行動の中にありました——マルコ 1:10, 12. マタイ  
4:1. ルカ 4:1, 18. ヨハネ 1:32-33。
- VI. その霊はそこにてキリストを油塗り、キリストと共に行動しておられまし  
たが、その当時、その霊はまだ信者たちの中へと入って生ける水の川々とし  
て流れ出ていませんでした。この意味で、その霊はまだなかったのです。な  
ぜならその時、イエスはまだ彼の復活の中で栄光を現していなかったからで  
す——7:37-39. ルカ 24:26。
- VII. 最後のアダムとしてのキリストは、彼の復活を通して、また彼の復活の中で、  
命を与える霊と成って彼の信者たちの中へと入り、生ける水の川々として流  
れ出しました——I コリント 15:45 後半. 啓 21:6. 22:17 後：
  - A. 命を与える霊は、イエスの霊として、人性におけるイエスと関係がありま  
す。彼は人の生活を経過し、十字架上で死なれました。これが示している  
のは、その霊の中には神の神聖な要素があるだけでなく、イエスの人性の  
要素、彼の人の生活と死の苦難との要素もまたあるということです——使  
徒 16:7。
  - B. 命を与える霊は、キリストの霊として、神性におけるキリストと関係があ  
ります。彼は死を征服して、復活にある命となり、復活の力を持っていま  
す。これが示しているのは、その霊の中には、死を征服し、命を分与する  
霊と成った神性の要素があるということです——ローマ 8:9 後半。
  - C. 命を与える霊は、イエス・キリストの霊として、彼の死を伴うイエスの人  
性の要素と、彼の復活を伴うキリストの神性の要素から構成されており、  
それは計り知れないキリストの満ちあふれる供給となって、彼の信者たち

を支えます——ピリピ 1:19 後半。

- D. 命を与える霊は、主なる霊、すなわち霊なるキリストとして、信者たちが栄光から栄光へ、主のかたちへと、思いが新しくされることによって、新陳代謝的に造り変えられるためであり（Ⅱコリント 3:17-18、ローマ 12:2 後半）、またキリストのからだを成長させ建造させるためです（Ⅰコリント 3:6、9 後半、12 前半、エペソ 4:16 後半）。
- E. 人なるイエスが命を与える霊と成った時、三一の神は完全に完成され、究極的に完成されました：
  - 1. 三一の神はキリストの復活において究極的に完成されました。ですから、主は復活された後、戻って来て、わたしたちに父と子と聖霊の名の中へと人々をバプテスマするようにと言ったのです——マタイ 28:19 後半。
  - 2. 三一の神が究極的に完成されたのは、命を与える霊、イエスの霊、キリストの霊、イエス・キリストの霊、主なる霊においてです。ですから、この霊は今日、三一の神の究極的完成なのです。
- F. 命を与える霊は、手順を経た三一の神の究極的完成として、信者たちに対するパラクレート、慰め主です——ヨハネ 14:16-17。
- G. 命を与える霊は、手順を経た三一の神の実際です—— 17 節前半、15:26 後半、16:13、Ⅰヨハネ 5:6 後半。
- H. 命を与える霊は、信者たちに到達した、手順を経た三一の神です。
- I. 命を与える霊は、信者たちを御父に、すなわち神聖な三一の源に近づかせます——エペソ 2:18。
- J. 命を与える霊は、手順を経た三一の神と信者たちとの交わりであり、彼らに神聖な三一の豊富を享受させます——Ⅱコリント 13:14。

#### **VIII. その霊は複合の油塗る霊です——出 30:22-30：**

- A. その霊には、唯一の神がその基本要素として、キリストの神性として調合されており、それは一ヒンのオリブ油によって予表されています—— 24 節後半。
- B. その霊には、神の神聖な三一が調合されており、それは香料の五百シケルの三つの単位によって予表されています—— 23-24 節前半。
- C. その霊には、キリストの人性が調合されており、それは四種類の香料によって予表されています。
- D. その霊には、キリストの死とその殺す効力が調合されており、それは没薬と肉桂によって予表されています—— 23 節前半。
- E. その霊には、キリストの復活とその駆除する力が調合されており、それは菖蒲と桂枝によって予表されています—— 23 節後半-24 節前半。
- F. 共に調合された以上すべての要素は、神を礼拝することに関するすべての物と人を油塗るための膏油を作り出します—— 25-30 節、Ⅱコリント 1:21。

I ヨハネ 2:20, 27。

- G. 複合の油塗る霊は、聖霊として働いて、キリストの信者たちに証印を押します——エペソ 1:13. 4:30 後半. II コリント 1:22 前半。
- H. 証印を押す霊は、信者たちの担保となり、信者たちの嗣業としての神を保証し、彼らに相続財産としての神の前味わいを与えます——エペソ 1:14. II コリント 1:22 後半。

**IX. その霊は福音の祝福です——ガラテヤ 3:8, 14 :**

- A. その霊は、信者たちを再生し、彼らを神の多くの子たちとして生みます——ヨハネ 3:5-6。
- B. その霊は、御子の霊であって、信者たちの心の中で、「アバ、父よ！」と叫び、信者たちを導いて神の子たちとして歩かせます——ガラテヤ 4:6. ローマ 8:14-16。
- C. その霊は、福音の祭司職のためであって、信者たちを聖別します—— 15:16。
- D. その霊は、信者たちのためにとりなします—— 8:26。
- E. その霊は、信者たちを新しくし、彼らを神の新創造とします——テトス 3:5 後半. II コリント 5:17。

**X. 七つの霊は、暗い時代において召会の墮落のために七倍に強化された霊です。**

啓示録第 1 章で、七倍の霊が神聖な三一の第三にではなく第二に置かれていることは、その霊の強化を示します—— 4-5 節前半 :

- A. 七つの霊は、神の御座の前で燃えている火の七つのともし火であって、神聖な行政を遂行して、神聖なエコノミーを究極的に完成します—— 4:5。
- B. 七つの霊は、小羊の七つの目、すなわち贖い主の観察する部分であって、すべての国のすべての召会を観察し、また彼のすべての豊富をわたしたちの中へと注入して、彼のからだを建造し、新エルサレムの建造を究極的に完成して、神の永遠のエコノミーを成し遂げます—— 5:6. 21:1-3。
- C. 七倍に強化された霊は、すべての召会に語る霊です—— 2:7, 11, 17, 29. 3:6, 13, 22。

**XI. その霊は、手順を経た三一の神の本質上の霊とエコノミー上の霊です :**

- A. 神の本質上の霊は、命の霊であり、神聖な命の神聖な本質として、信者たちの中へと息吹き込まれました——ヨハネ 20:22。
- B. 神のエコノミー上の霊は、力の霊であり、神聖な力の神聖な本質として、信者たちの上に注ぎ出されました——使徒 1:8. 2:2, 4, 17。

**XII. その霊は、手順を経た三一の神の究極的完成です :**

- A. その霊と花嫁は、宇宙的な夫婦として共に語ります——啓 22:17 前半。
- B. 手順を経て究極的に完成された三一の神は、贖われ、再生され、造り変えられた三部分から成る人と結婚します。それは栄光の中での彼の最終の現れ、また究極の表現のためであり、永遠に至ります—— 21:1-22:5。

XIII. わたしたちの意義と宇宙の意義とに対するかぎは、神がその霊として存在することと、わたしたちが霊を持っていることにあります。神がその霊でなければ、またわたしたちが神と接触し神と一になるための霊を持っていなければ、全宇宙はむなしく、わたしたちは無です——ヨハネ 3:6. 4:24. ローマ 8:16. I コリント 6:17:

- A. 人の霊は神によって特別に創造されました。それは、神が天と地を創造した目的を完成するためです——創 2:7. ゼカリヤ 12:1. イザヤ 42:5. ヨブ 32:8.
- B. 人の霊は人の内側の器官であって、それは人が、神と接触し、神を受け入れ、神を内容とし、神を人の全存在の中へと吸収して、人の命またすべてとするためです——創 2:7. 参照、箴 20:27.
- C. 神が霊であるのは、人が彼と接触し、彼を受け入れるためです。人に霊があるのは、神と接触し、神を内容とし、神と人が有機的な結合を持つためです——ヨハネ 4:24. I ヨハネ 4:13. II テモテ 4:22 前半. I コリント 6:17.
- D. わたしたちの霊は、「行程に行く」三一の神の目的地です——ヨハネ 1:1. 4:24. ローマ 8:16.
- E. わたしたちの霊の中でわたしたちは再生され (ヨハネ 3:6)、わたしたちの霊の中で聖霊は住み、働き (ローマ 8:16)、わたしたちの霊の中でわたしたちはキリストと彼の恵みを享受します (II テモテ 4:22. ガラテヤ 6:18).
- F. 人の霊と人の魂には区別があります——ヘブル 4:12. I テサロニケ 5:23 前半.
- G. わたしたちの霊は、良心 (ローマ 9:1. 参照、8:16)、交わり (ヨハネ 4:24. ローマ 1:9. ルカ 1:47)、直覚 (I コリント 2:11. マルコ 2:8) から成っています.
- H. 自分自身を訓練して敬虔へと至ることは、日常生活の中でわたしたちの霊を活用して、その霊であるキリストを生きることです——I テモテ 4:7:
  - 1. わたしたちは霊を燃え立たせる必要があります——II テモテ 1:6-7.
  - 2. わたしたちは思いを霊に付ける必要があります——ローマ 8:6.
  - 3. わたしたちは霊と魂を識別する必要があります——ヘブル 4:12.
- I. 主がわたしたちの霊と共におられるのは、わたしたちが彼の内住する霊と装備する言葉を通して、彼を恵みとして享受して、召会の衰退の下降する潮流に抵抗し、神のエコノミーを遂行するためです——II テモテ 4:22. 1:14. 3:16-17.